

情報公開文書

S26-26

| | |
|---------------------|---|
| 研究課題名 | 血清学的胃癌リスク分類陰性胃癌の臨床病理学的特徴に関する多施設研究 |
| 研究期間 | 2014年11月21日～2015年3月31日（情報収集期間） （1990年1月1日から2014年12月31日の間に当院で検診・診療等を受けた胃癌患者のうちHp抗体、PG法とも測定できた症例が対象。） |
| 研究の目的と意義 | ヘリコバクターピロリ(ピロリ菌)は、胃癌の原因の一つであり、ピロリ菌に感染していない人からの胃癌発生はまれです。現在、胃癌のリスクを簡便に分類する方法として、ピロリ菌(Hp)抗体とペプシノゲン(PG)検査を組み合わせる方法（ABC分類）が広く用いられています。Hp抗体とPG法とも陰性の群はA群とされ、胃癌がほとんど発生しない低リスク群ですが、A群からも時に胃癌の発生がみられます。本研究では、A群に分類された胃癌の特徴を検討し、胃癌対策に生かすことを目的としています。 |
| 研究方法 | <p>当院健診センターにおいて、胃癌が発見され、Hp抗体、PG法とも測定できた受診者の方の下記の情報を収集し、A群に分類された胃癌の臨床病理学的特徴、胃の粘膜の特徴を検討し、A群の胃癌の実態を明らかにします。</p> <p><u>収集する情報</u> 年齢、性、Hp抗体価、PG値、内視鏡所見、胃X線所見、胃癌肉眼型、組織型、胃癌部位、胃癌深達度、大きさ、Hp除菌歴、胃手術歴、薬(胃酸分泌抑制薬や鎮痛薬など)、腎障害の有無、内視鏡写真、胃X線写真など</p> <p>※なお、本研究は広島大学保健管理センターを中心に全国の医療施設で実施されています。</p> |
| 個人情報の保護、研究参加の拒否について | <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p> |
| 結果の公表 | この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。 |
| 問合せ先 | <p>京都第二赤十字病院 健診部 （職名・氏名）部長・小林 正夫 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）</p> |